

## 「かつしか」という地名

葛飾区は古代の葛飾と呼ばれた地域のごく一部にしか過ぎません。古代の「かつしか」という領域は広大なものでした。古代の「かつしか」は、旧南葛飾郡（葛飾・江戸川・墨田・江東区）と、千葉県市川・柏・流山・松戸・船橋市や埼玉県栗橋および茨城県古河・総和市までおよぶ広い地域がその範囲でした。

「かつしか」の地名は、当時の葛飾郡全体の地形的特徴を捉えることで説明ができます。つまり、「かつしか」の「かつ」は丘陵や崖などを指し、「しか」は砂州などの低地の意味をもっています。「かつしか」とは、利根川流域の右岸に低地、左岸に下総台地が広がる旧葛飾郡の地理的な景観から名付けられたと考えられます。

『かつしかの地名と歴史』（平 15、葛飾区郷土と天文の博物館）19 頁による

 葛飾区

